

各地区業況アンケート結果（30年10月調査分）

（30年10月25日）

全国鉄鋼販売業連合会

10月24日締切で、当会役員146名に対しこのアンケートを行ったところ71名の回答があり（回答率48.6%）その結果が下記のとおりまとめましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※ $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、（数は回答実数）

1. 前年同月比売上数量はほぼ横這い

問1】貴社の9月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	11	13	22	17	8	71	73
比率	16%	18%	31%	24%	11%	DI+3	DI+42
売上金額/前年同月比	17	15	23	12	4	71	74
比率	24%	21%	32%	17%	6%	DI+41	DI+80

2. 赤字企業は1割

問2】貴社の9月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	22	32	10	5	2	71	74
比率	31%	45%	14%	7%	3%	DI+94	DI+84

3. 建設向け中心に全向け先で少しずつ増加傾向

問3】貴社の営業窓口から見て9月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向	1	17	31	5	1	55	+22	+24
民間建設向	4	24	28	3	2	61	+41	+56
自動車向	1	4	30	1		36	+13	+38
その他需要家向	2	24	33	1	1	61	+41	+38
仲間取引	3	11	38	5	2	59	+14	+15
計	11	80	160	15	6	272	+28	+34
比率	4%	29%	59%	6%	2%			

4. 今後は微増程度と予測

問4】貴社における向う11月から1月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	5	36	27	2	1	71	72
比率	7%	51%	38%	3%	1%	DI+59	DI+75

5. コラムは更に品薄、厚板は不足ぎみ傾向

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	品種別	A	B	C	D	E		10月
D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	D I
-19	-11	10	8	-4	-17	0	0	-7	7	-3	3	鉄筋用丸鋼		3	23	3		29	0
-13	-6	3	-4	7	10	10	10	13	13	0	6	構造用丸鋼	1	5	25	2		33	15
-9	-3	3	0	0	-10	-3	-3	-6	0	-9	-3	平角鋼		1	32	1		34	0
22	29	38	25	22	8	-6	-3	10	9	9	3	H形鋼		7	25	1		33	18
21	32	54	29	48	11	33	38	59	67	76	81	コラム	6	12	6			24	100
-8	-6	11	19	3	0	3	-6	0	-9	-8	-3	小形山形鋼			33	4		37	-11
-5	-5	6	-7	0	-13	-18	-12	-3	-14	-11	-8	中形山形鋼			32	4		36	-11
-3	0	11	0	-3	-3	0	-9	-3	-6	-11	-3	溝形鋼		1	30	5		36	-11
-10	3	0	4	-3	-16	-15	-14	-11	-3	0	-9	軽量形鋼C形			27	5		32	-16
-14	-15	5	-5	-9	-16	-16	-15	-10	-11	-9	0	軽量形鋼広巾	1		18	3		22	-5
0	29	22	44	41	32	4	14	13	8	4	7	冷延薄板		5	19	2		26	12
14	39	46	61	50	31	27	23	12	11	-3	-3	熱延薄板		3	24	3		30	0
31	47	53	73	59	50	40	33	27	14	3	6	表面処理鋼板		4	22	3		29	3
31	64	69	76	80	52	32	25	18	11	-3	-3	酸洗鋼板		2	24	5		31	-10
10	46	53	76	55	24	21	19	16	7	5	7	中板	1	3	35	2		41	7
3	29	21	18	21	8	-6	14	14	10	23	31	厚板	2	13	20	2		37	41
5	17	0	-7	6	-6	0	13	0	0	11	25	極厚板	1	2	11	2		16	13
3	20	6	-4	3	-7	3	-10	-3	3	3	-3	縞板		1	25	3		29	-7
-3	0	3	7	0	-12	-11	-5	-12	0	-7	2	中径角		4	29	3		36	3
5	0	8	-3	3	-9	-8	-8	-6	10	2	-5	ガス管黒		2	34	2		38	0
-3	3	3	-3	-3	-14	-6	-8	-12	3	-2	-5	構造用鋼管		2	30	3		35	-3
3	15	21	22	18	5	4	4	5	5	2	5	計	12	70	524	58	0	664	5

6. 建築需要中心に需要はあるが様々な理由で工期遅れ生じる
 問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	物件の量に伴わず、数量、利益ともに伸び悩んでいる。原因は分からない。工期が遅れているのか。人手不足のためなのか。
	B	丸棒は輸送コスト増を理由に2メーカーともに運賃改定がなされ10月より概ね各地域+1となり、実質仕切単価の上昇となっている。
	C	メーカー値上げの積み残しは、まだ解消されておらず、完全転嫁までは唱えを引き続きアップしている。需要は最盛期になってきており、メーカーローンは好調。市中の荷動きも上ってきた状況である。
東北	A	鋼材が動いている感じがあまりしない。その反面、加工会社は一杯であり、鋼材の一部、BCP、ボルト、外法など納期で問題が起こっている。工程のズレに派生し、悩ましい状況である。
	B	8月の盆明けから思った程、材料が動かない。9月の一次加工は忙しかったが、思った程でもなかった。価格も横這いである。
	C	メーカー、鉄筋屋、鉄工所などが忙しくて物が期待するほど動かない。暫くこのままになるのではないか。
新潟	A	台風による影響でメーカーの出荷遅れがあり、加えて長距離のトラック不足により入庫量の減少が目立っている。
	B	全体的な動きに活況感あり。一部の材料で納期遅れが発生。年内はこのような状況が続くと予想される。単価の上乗せに傾注している。
	C	全業種において仕事はこなしきれない程である。しかし荷動きは横這い。仕事が進まないのか出来ないのかの状況である。
	D	新規見積りは少ない。
	E	構造用鋼の需要は非常に堅調、鋼管は相変わらず低位安定である。
	F	想定通り需要が出てきた。供給側もタイト感があり、いい環境になっている。特に加工絡みの需要は受けきれないほど出ている。
	G	暖房機などの季節商品は残暑の影響でエアコンからのシフトが遅れる。自動車関連は西日本、北海道の災害影響で商品調達もあり伸び悩む。ファブの需要は好調で切板も繁忙。メーカー値上げを受け価格転嫁を急ぐ。
	H	建設関係中心に動きはある程度、活発に見られる。年内は続くと予想。メーカー値上げ分の価格転嫁は道半ば。
神奈川	A	一次加工含みの案件は、月を追う毎に多くなってきている。市況も10月に入り、メーカーの強気モードも重なり上昇している。その他品種も各メーカーは下期に値上げしたい様子である。先行きメーカーの動きを考慮しながらの商売になると思われる。
	B	需要家の動きは大きく変化していないが、数ヶ月前からボルトの手当てが厳しくなっているため、物件によっては工期を遅らせるか溶接加工での建方で納期対応する方法を検討している。
	C	急ぎの案件対応に追われている状況。
東京	A	トラック、建機のみも付き材は好調横這いである。店売りはヒモ付き材に変わってきていることからタイト感もなく、低調横這いの二極化になっている。そのため店売り市況は停滞している。
	B	繁忙期に向け、更なる値上げを実行し、メーカー値上げの転嫁を完遂したい。

東京	C	9月は中間、本決算先が多く、仕入抑制した客先が目立った。また、勢いが良かった生産も9月は在庫調整し、全体感として販売が鈍かった。ただ10月は元に戻るかというところでもなく、生ぬるい雰囲気は漂い、正直怖い。ひも付きユーザーと店売りマーケットの温度差が歴然である。
	D	(構造用丸鋼) ひも付きを含めた直需関連は堅調である。一方、店売りは依然活況に欠け温度差がある。ただ足元では、小口ひも付きやロット切断などは減少傾向である。
	E	出荷は好調に推移しているが、品種によって波が大きくなっている。更なるメーカー値上げに取り組んでいる。
静岡	A	建築関連を中心にボルト不足(入手難)による建方遅延の不安が出ている。加工先の確保、納期の対応も変わらず厳しい状況で労務費、加工費アップの要因となっている。
	B	公共関連入札物件数は増加しているが、当県における鉄鋼商品中心の案件は少ないのではないかと。第2四半期は第1四半期の遅れ(受注、供給とも)を取り戻した感が各流通共通の状況であると思う。首都圏物件の建築金物の仕事を手伝っているが、本体工事大きさが現在の状況を物語っている。ファブは相変わらず山が高い状況が続いている。海外市場が当たり前になった産業パレット業界だが、商品の価格は正がネックである。一次二次流通は施主やグローバル企業の厳しい指値に閉口し対応している。業界良好の証なのか興信調査員の成績が上がらないようだ。
石川	A	建設業、もの造り業ともに活況だが、人、モノ、車、土地などが足りず、おまけに長雨と嵐が続きうんざり感がある。季節の変動が不安定で活況感がそがれそうだが、そこは持ち堪えている。しいて言えばトランプ政権の中間評価が気になる。高齢化、労働者不足と働き方改革がどこでマッチングすれば少し良い方へ向かうし、気持ちに余裕が持てるのではないかと。
	B	鋼材全般、仕入先より値上げの要請がきているが、販売価格に転嫁できず苦労している。建築資材のコラム、ハイテンBTなど入手難の状況である。最近、中小鉄工所の現業員を大手企業が好条件で引き抜いているとの話題が散見される。
富山		基礎部と鉄骨は多忙だが、外壁、内装、屋根関係の順番がまだ周って来ず、忙しくなっている。
岐阜		建築関連ではBCRコラム素管、切断加工ともにタイトな状況で手配に苦労している。BCRコラム納期は3週間以上かかっている。9月の産機関連の仕事は業種によって需要にバラツキがあった。
愛知	A	依然として需要は斑模様である。機械関係でいいところもあるが、全部が良いわけではない。自動車関係も悪いわけではないが、支給材中心で流通に回ってこない。それよりも集鋼価格の据置きが価格の停滞を招き困っている。
	B	ファブを中心に忙しいという声を多々聞くが、当社の動きは9月中旬より静かである。加工物は短納期の要求(ユーザー)、人手不足などが多忙を極める加工業者の間で難しい状態が続いている。当地区はいろいろなプロジェクトを控えているということなので長期的な目で期待感は大い。
	C	鉄骨案件でコラムの納期がかかる様になり、コラムの価格転嫁はできているが、他の部材はタイト感がなく価格転嫁に苦労している。チャンネル、アングルの出荷が前年度に比べて落ち込みが大きかった
三重		10月2日現在、複数の台風の影響で、デッキやH形鋼の入荷に少なからず影響が出てきた。注幅のH形鋼に歯抜けが散見される。一次加工は相変わらず忙しい。外注にお願いすることが多いが支給材というわけにもいかず、在庫が使えないことが歯がゆい。

大阪	A	中小物件を中心にまずまずの動きだが、鉄骨物件が多い。RC物件は少ない。苦境土木工事もまとまった量が出る物件が出てきており、今後、年度末までは期待できそうな感じである。住宅は忙しい所とそうでない所との格差が大きく斑模様である。
	B	10月は需要期に入り、荷動きは堅調である。工場や倉庫などの非住宅分野中心に鉄骨は堅調である。ファブは忙しく、流通の一次加工が大変忙しい。コラム、ボルト、切板、合成床板などの手当てが厳しくなっている。工期遅れが問題だが、逆に息の長い需要家に繋がるケースも考えられる。販売単価も安値が切り上がっている。更にメーカーの値上げ分をこの需要期に転嫁していく。
岡山		建築、造船関連は来年も繁忙が継続。加工賃も以前より上ってきている。材料の価格転嫁も進んでいるが、まだ一部で安価な話である。プレスコラム以外の品種で品薄感はないが、全ての業種において人手不足の感がある。材料の荷動きは今後も現状維持か。
香川		土木関連の材料が動き出した。H形鋼も広幅中心に形鋼も少し大きい材料が動いている。災害復旧とは別の案件である。市況はいまだ上値重い状況だが、まずは形鋼から値上げを浸透させていきたい。
北九州	A	一般形鋼メーカーは次々と値上げを打ち出しているが、流通の足元は落ち着いており、依然競合他社との様子見な状況に思われる。今後、仕入は確実に上ってくるため、価格転嫁は不退転の覚悟で望みたい。
	B	一次加工、鉄骨加工は忙しい。定尺売りも仲間からの引合いも増えているが、安値はなくなり、上値追いは反応がない。10月22日あるいは11月から値上げを唱える同業者が大半である。追随する気もなく、売上は横這いで採算は悪化している。